

全世代・全員活躍型 「生涯活躍のまち」の推進について



デジタル田園都市国家構想

DIGIDEN

内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局
内閣府地方創生推進室

全世代・全員活躍型「生涯活躍のまち」のイメージ

「生涯活躍のまち」のコンセプト ⇒ 「誰もが居場所と役割のあるコミュニティづくり」

<各地域のコンセプト例>

多文化・多世代共生のまちづくり（北海道東川町）、地域が家族になるまちづくり（福島県伊達市）、全世代活躍 みんなが主役のまちづくり（群馬県前橋市）
あらゆる人々を地域・多世代交流・協働で支えるまち（千葉県匝瑳市）、あなたのいきかたをデザインできるまち（鳥取県南都町）

地域課題

● まちのにぎわいの減少



● 子育て世帯等の孤立



● 世代間等の交流機会の減少

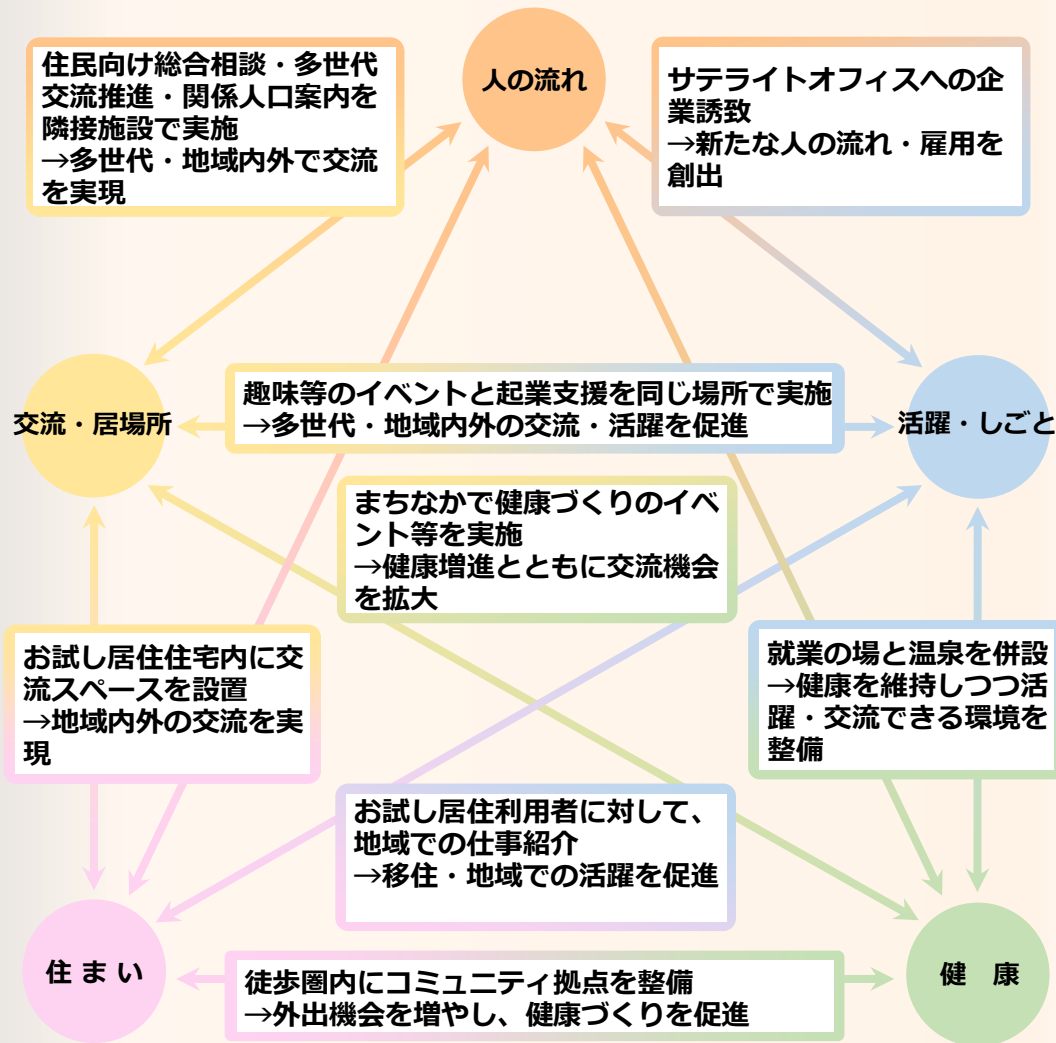


● 空き家の増加



「生涯活躍のまち」づくり

施策（事業）に連携して取り組むことにより、相乗効果を発揮



「生涯活躍のまち」の実現

● 地域のにぎわい創出



● 子育て世帯等の交流



● 世代を問わず活躍できる場づくり



● 関係人口が新たなスキルを発揮

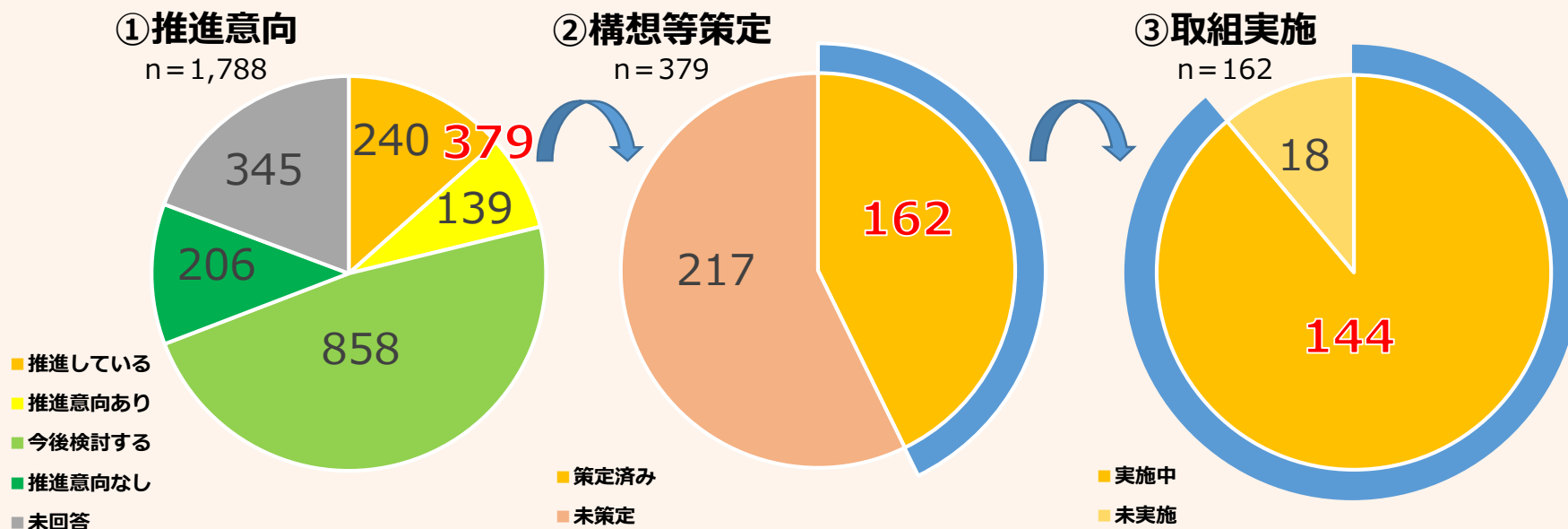


<調査概要>

- 「生涯活躍のまち」に関する地方公共団体の意向等を把握するため、**令和4年9月1日**付けで、「生涯活躍のまちに関する各地域の意向等調査」を実施（調査対象：全国の地方公共団体全て）。

<調査結果概要>

- 「生涯活躍のまち」に関する取組を**推進している、または推進意向がある**地方公共団体は**379団体**（推進団体240団体・推進意向団体139団体）
- 取組を推進している、または推進意向がある地方公共団体のうち、
 - ・「生涯活躍のまち」に関する**構想等※**を策定している団体は**162団体**（令和3年度：151団体）
 - ・「生涯活躍のまち」に関する**構想等に基づき、取組を実施している**団体は**144団体**（令和3年度：123団体）



※「生涯活躍のまち」にかかる「構想」「基本計画」のほか、地域再生計画（地方再生法第5条第4項第1号）を含む。

令和元年度

「生涯活躍のまち」を総合戦略において位置づけ

検討会等で議論された内容を踏まえ、それまで中高年齢者の移住に重点が置かれていた「生涯活躍のまち」について、誰もが居場所と役割のあるコミュニティづくりや、コミュニティへのひとの流れづくり、コミュニティ運営を支える事業基盤の確立に向けた取組等を総合的に推進する新たな全世代・全員活躍型「生涯活躍のまち」を策定。第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」（令和元年12月20日）において、横断目標として位置づけられた。

令和2年度

「生涯活躍のまち」に関するガイドラインの策定・支援体制構築に向けた調査

新たな全世代・全員活躍型「生涯活躍のまち」の推進のため、取組を検討あるいは既に推進している地方公共団体や事業者向けに**基本的な考え方等を示すガイドライン**を策定。第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」（2020改訂版）（令和2年12月21日）において、ガイドラインを踏まえた「生涯活躍のまち」の推進が位置づけられた。また、「生涯活躍のまち」の先進事例や関連する取組について幅広い調査を実施し、官民連携事例を網羅的に示した「**官民連携事業モデルHOWto事例集**」等を作成した。

令和3年度

「生涯活躍のまち」の施策立案手法に関するモデルの構築

新たな全世代・全員活躍型「生涯活躍のまち」を実践するために、**施策立案から実現までのプロセス**を明示してほしいとの声が多く、地方公共団体から寄せられたため、地方公共団体（全4団体）において、「生涯活躍のまち」の具体化に向けた計画策定補助等の伴走支援を実施し、そこで得られた取組手法等の知見に関する調査研究を行い、**施策立案手法に関するモデルとして「生涯活躍のまち」コミュニティづくりの〈積み木アプローチ〉説明書**を作成したほか、先行事例における「生涯活躍のまち」の導入プロセスに焦点を当てた「**生涯活躍のまち**導入事例集」を作成し全地方公共団体に展開した。

令和4年度

「生涯活躍のまち」の実現手法に関する知見・ノウハウの調査・モデルの拡充

令和3年度に構築した施策立案手法に関するモデルに加えて、**官民連携など「生涯活躍のまち」の実現に関する手法**の明示が地方公共団体から求められているため、地方公共団体と民間事業者の**マッチングイベント**及びイベント後の事業具体化に向けた**伴走支援**並びに地方公共団体同士の**意見交換会**を通じて、「生涯活躍のまち」の実現に向け地方公共団体を直接支援しながら、**官民連携手法などに関する知見・ノウハウを収集・分析**し、令和3年度に作成した「**生涯活躍のまち**コミュニティづくりの〈積み木アプローチ〉説明書」の**拡充**を図り全地方公共団体に展開予定。また、**デジタルを活用して「生涯活躍のまち」づくりに取り組む事例**を収集。

次の資料をホームページ等で発信することにより、地方公共団体における「生涯活躍のまち」の事業立案を支援

● 「生涯活躍のまち」取組事例

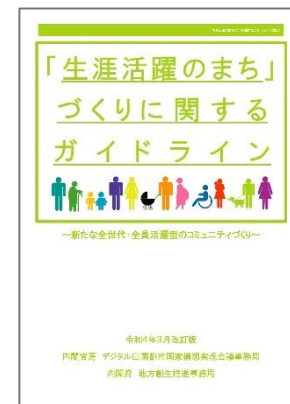
「生涯活躍のまち」を推進する地方公共団体の取組概要を掲載（51団体分）



https://www.chisou.go.jp/sousei/about/ccrc/pdf/r4ccrc_torikumi_matome_ver2.pdf

● 「生涯活躍のまち」づくりに関するガイドライン

「生涯活躍のまち」の推進のため、取組を検討あるいは既に推進している地方公共団体や事業者向けに基本的な考え方等を示した資料



https://www.chisou.go.jp/sousei/about/ccrc/shienmenu/pdf/220331_ccrcguideline.pdf

● 「生涯活躍のまち」導入事例集

「生涯活躍のまち」づくりに関するガイドラインの補完資料
 ガイドラインに記載する「推進プロセス」のうち、「生涯活躍のまち」の推進意向がある地方公共団体から照会の多い「生涯活躍のまち」導入の経緯等について掲載



https://www.chisou.go.jp/sousei/about/ccrc/shienmenu/pdf/220331_ccrcdounyujirei_preview.pdf

● 「生涯活躍のまち」コミュニティづくりの〈積み木アプローチ〉説明書

「生涯活躍のまち」づくりに関するガイドラインの補完資料
 実際に取り組を始めるための実践的な手引きとして、「生涯活躍のまち」を推進に向けた各プロセスで活用可能な手法を提示した上で、地域の実情に合わせた手法の選び方を積み木に見立て解説していることから、「積み木アプローチ」と称して普及中



https://www.chisou.go.jp/sousei/about/ccrc/shienmenu/pdf/220331_ccrcapproach.pdf

上記資料のほか、各年度における調査研究事業報告書について、「生涯活躍のまち」ホームページで公開中

<https://www.chisou.go.jp/sousei/about/ccrc/index.html>

次の各種イベントを通じて「生涯活躍のまち」事業の具体化を支援しながら、それに資する知見・ノウハウについて調査研究

①地方公共団体と民間事業者のマッチング手法等に関する調査研究

⇒マッチングイベントの開催を通じて、「生涯活躍のまち」に関する事業提携のノウハウ等について調査研究するもの

②コミュニティづくりの知見・ノウハウ等に関する調査研究

⇒意見交換会の開催を通じて、「生涯活躍のまち」に関する知見・ノウハウ等について調査研究するもの

地方公共団体と民間事業者のマッチング手法等に関する調査研究

マッチングイベントの開催

- ・「生涯活躍のまち」に関する事業ニーズを持つ地方公共団体と、当該事業ニーズに資する民間事業者が参加
- ・大まかな事業テーマごとのグループに分かれ、今後の事業実現に向けて意見交換し、将来的な事業実現を目指す。

事業ニーズを持った
地方公共団体

「生涯活躍のまち」に
関心のある民間事業者

マッチング

第1回 令和4年7月15日（金）大阪会場

第2回 令和4年9月26日（月）広島会場

第3回 令和4年9月30日（金）東京会場

伴走支援

イベント開催後は、2～3の地方公共団体を対象として、将来的な事業計画（ロードマップ）策定過程を伴走支援する予定

コミュニティづくりの知見・ノウハウ等に関する調査研究

意見交換会の開催

- ・「生涯活躍のまち」を推進する地方公共団体、「生涯活躍のまち」に取り組みたい地方公共団体等が参加
- ・「生涯活躍のまち」を推進する地方公共団体に取組事例を発表いただきながら、具体化プロセス等について意見交換

「生涯活躍のまち」を
推進する地方公共団体

「生涯活躍のまち」に
取り組みたい地方公共団体

意見交換

第1回 令和4年6月29日（水）オンライン

第2回 令和4年10月24日（月）オンライン

第3回 令和4年12月21日（水）オンライン

第4回 令和5年2月中下旬 オンライン

第4回はデジタル技術の活用をテーマに開催予定です。
積極的なご参加をぜひお願いします！

■ 「生涯活躍のまち」の実現に向けたデジタル活用事業の具体化モデルの構築

デジタルを活用した「生涯活躍のまち」づくりの普及促進を図るため、地域課題の整理、事業立案、官民連携手法の検討等の具体化プロセスに焦点を当て、①市町村をモデル自治体に選定し伴走支援を行うことや、②市町村の先進事例を調査することにより、③事業具体化プロセスのモデルを構築する。

■ マッチングイベントや意見交換会を通じたデジタル活用に関する知見・ノウハウの収集

事業具体化プロセスの整理には、多くの地方公共団体と民間事業者が直接対話する機会を設け、そこで議論された知見・ノウハウを取り入れることが重要であるため、デジタル活用をテーマとした④地方公共団体と民間事業者のマッチングイベントや⑤地方公共団体同士の意見交換会を開催し、デジタル活用に関する幅広い知見・ノウハウの収集を図る。

① 伴走支援

対象市町村 × 複数回MTG

デジタルを活用して「生涯活躍のまち」を推進したい地方公共団体（市町村）を、今年度内に公募して、モデル自治体として選定予定。来年度、年間を通じて伴走支援を実施することにより、具体化プロセスを整理。

伴走支援の内容は、地域課題の整理や事業立案、官民連携手法の検討等モデル自治体の実情に応じた庁内プロセスの実施に向けたミーティングの開催を軸として（ミーティングの参加者は、実施する庁内プロセスにより適宜選定）、あわせて②先進事例調査、④マッチングイベント、⑤意見交換会で得られた知見等の提供を想定。

活用

デジタルを活用して「生涯活躍のまち」を推進したい地方公共団体

検討開始（将来像の設定等）

事業具体化に向けた伴走支援

具体化プロセスの整理

デジタル活用による「生涯活躍のまち」の実現へ（事業実施）

② 先進事例調査

対象市町村 × 2回調査

既にデジタルを活用して「生涯活躍のまち」に取り組む地方公共団体（市町村）において、どのようにデジタル活用事業を具体化し事業実施に至ったかについて、過去の詳細なプロセスを調査し、整理する。

デジタルを活用して「生涯活躍のまち」に取り組む地方公共団体

過去の具体化プロセスを整理

伴走支援に活用モデルへ反映

反映

③ モデル構築

①・②で得られたプロセスから一般化できる内容を抽出し、**デジタルを活用して「生涯活躍のまち」に取り組みたい地方公共団体が、取組を始める際の指針となる汎用性の高いモデルを構築する。**

④ マッチングイベント

R4より規模拡大し1回

地方公共団体と民間事業者のマッチングイベントを開催し、事業具体化に向けた情報収集等を実施。

デジタルを活用して「生涯活躍のまち」を推進したい地方公共団体

マッチング

デジタルを活用して地域課題解決を図る民間事業者

活用

⑤ 意見交換会

2回

地方公共団体同士の意見交換会を開催し、「生涯活躍のまち」づくりに関する知見・ノウハウを共有。

デジタルを活用して「生涯活躍のまち」を推進したい地方公共団体

意見交換

デジタルを活用して「生涯活躍のまち」に取り組む地方公共団体

活用

① 伴走支援へのご応募、
④ マッチングイベント、
⑤ 意見交換会へのご参加を
ぜひお願いします！

【伴走支援の目的】 「生涯活躍のまち」の実現に向けたデジタル活用事業の具体化プロセスのモデルの構築

デジタル技術を活用して、「生涯活躍のまち」づくりを実施する際の**事業立案、他事業との連携、官民連携の手法等**に焦点を当て、**事業具体化プロセスをモデル化**するために、**地方公共団体（3市町程度）をモデル自治体に選定**して、内閣官房及び委託事業者が、**伴走支援**を行う。

【スケジュール（イメージ）】

伴走支援

知見の反映

デジタル活用事業の具体化
プロセスのモデルの構築

※ 以下は、イメージ例です。スケジュールや各工程の内容については、モデル自治体の実情に応じて、設定いただけます。

～3月 モデル自治体募集・選定

4月 年間スケジュールの作成

～8月 「検討体制の構築」（＝例えば、企画部門とデジタル部門の連携）

「地域課題・地域資源の再整理」によって、デジタル技術を活用して解決すべき課題を見つける

～12月 「民間事業者との意見交換により事業具体化」

～来年2月 「事業内容のブラッシュアップ」

来年3月 「次年度以降の方向性を取りまとめ」（※ 事業の実施について次年度以降を想定した例）

【事業例】

（人の流れ）サテライトオフィス・コワーキングスペース等の設置と企業誘致、オンライン移住相談、SNSによる地域の魅力発信

（健康）健康アプリ、ウォーキングアプリ、母子手帳アプリ等の導入・活用

（交流・居場所）地域コミュニティ（自治会の回覧板、広報誌等）の電子化、交流施設のオンライン予約導入、高齢者向けデジタル講座開設

（活躍・しごと）地域商材のオンラインプラットフォーム開設、デジタル人材の育成講座開設・地域企業とのマッチング

（住まい）防災アプリの導入・活用、高齢者等世帯への見守り機器設置

(参考) マッチングイベント、意見交換会

概ね、令和4年度と同じ形式で開催予定です。詳しくは、次のURLをご覧ください。

https://www.chisou.go.jp/sousei/about/ccrc/etc/chousakenkyu_r01/index.html#r04

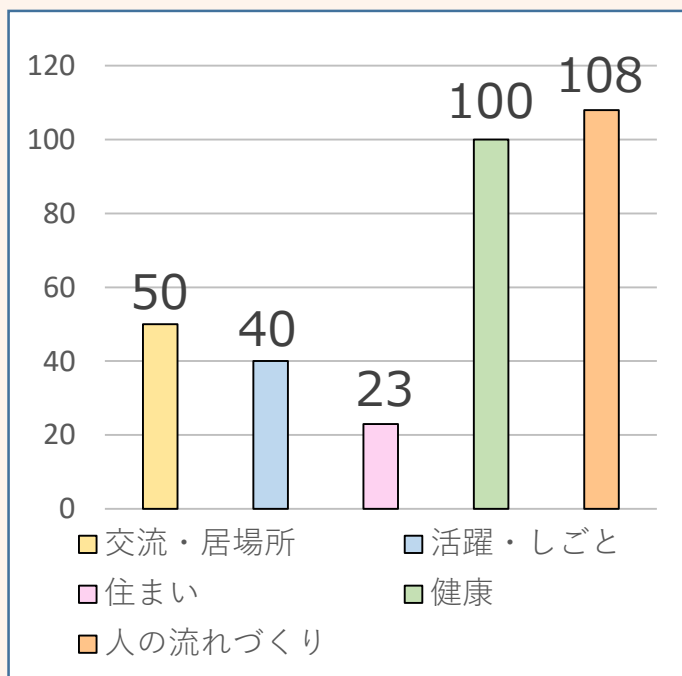
<調査概要>

- 「生涯活躍のまち」に関する地方公共団体の意向等を把握するため、**令和4年9月1日付け**で、「生涯活躍のまちに関する各地域の意向等調査」を実施（調査対象：全国の地方公共団体全て）。

<調査結果概要>

- 「生涯活躍のまち」に関する取組を推進している、または推進意向がある地方公共団体（379団体）のうち、「生涯活躍のまち」を構成する5分野のなかでデジタル技術を活用している事業を実施している地方公共団体（複数回答可）は、**交流・居場所：50団体、活躍・しごと：40団体、住まい：23団体、健康：100団体、人の流れづくり：108団体**
- 取組を推進している、または推進意向がある地方公共団体のうち、デジタル技術の活用に関しての課題は下記のとおり（複数回答可）。

① 5分野別のデジタル技術を活用して取り組む事業



② デジタル技術を活用するに当たっての課題

課題	回答
①庁内で中心となって事業を進める部署等が決まらない。あるいはない。	71団体
②庁内で中心となって事業を進める人材がない。	106団体
③庁内での連携が取れない（もしくは取りづらい）。	75団体
④デジタル技術を活用した「生涯活躍のまち」の具体的な方向性が見定めが難しい。	202団体
⑤具体的な事業の企画立案が難しい。	184団体
⑥中核的に事業を担う（推進する）民間事業者や法人がない、連携が難しい。	85団体
⑦中核的に事業を担う（推進する）民間事業者の自立性が難しい。	69団体
⑧財源が足りない（もしくは財源手当する目処が立たない）。	166団体
⑨地方創生推進交付金等の申請作業の負担が大きい。	87団体
⑩事業について住民や議会の理解を得られない。	14団体
⑪「生涯活躍のまち」におけるデジタル技術の活用は検討していない。	22団体
⑫その他	15団体

1 今年2月中下旬の第4回意見交換会（オンライン）への積極的なご参加をお願いします。

意見交換会

「生涯活躍のまち」を推進する地方公共団体、取り組みたい地方公共団体を対象として、「生涯活躍のまち」推進する地方公共団体から取組事例を発表いただきながら、具体化プロセス等について意見交換します。第4回は、デジタル技術の活用をテーマに開催予定です。ぜひご参加ください。
「生涯活躍のまち」の取組に興味はあるがまだ検討に着手していない場合、関連する事業を推進されている場合などでも、奮ってご参加ください。

2 来年度の調査研究事業への積極的なご参加をお願いします。

伴走支援

今後、デジタル技術を活用して「生涯活躍のまち」づくりを推進したい市町村を対象として、伴走支援を実施予定です。今年度内に公募し、3市町程度を選定予定ですので、ぜひご応募ください。

既に特定のデジタル活用事業の導入が念頭にある場合でも、今後地域に必要なデジタル活用事業の検討を始めたい場合でも構いません。来年度、検討に着手できる地方公共団体であればご参加いただけます。

マッチングイベント（来年度は1回開催予定）

デジタルを活用して「生涯活躍のまち」を推進したい地方公共団体と、デジタルを活用して地域課題解決を図る民間事業者のマッチングイベントを開催予定です。

民間事業者との意見交換を通じて、地域課題解決に関する思いがけない気づきや新たな事業アイデアの発見といったメリットが期待されます。ぜひご参加ください。

意見交換会（来年度はオンラインで2回開催予定）

デジタルを活用して「生涯活躍のまち」に取り組む地方公共団体と、デジタルを活用して「生涯活躍のまち」を推進したい地方公共団体が、意見交換して、知見・ノウハウを共有します。ぜひご参加ください。

「生涯活躍のまち」の取組に興味はあるがまだ検討に着手していない場合、関連する事業を推進されている場合などでも、奮ってご参加ください。

3 貴団体の「生涯活躍のまち」の取組を「地方版総合戦略」の地域ビジョンの一つとしてご検討ください。

地域ビジョン

デジタル田園都市国家構想総合戦略において、地方公共団体は、同戦略を勘案し、地域の個性や魅力を生かした地域ビジョン（地域が目指すべき理想像）を再構築して、地方版総合戦略を改訂するよう努めることとされています。

改定の際には、全世代・全員活躍型「生涯活躍のまち」に関して各地域が掲げている構想（あるいは、基本計画、地域再生計画）も参考にしつつ、地域の実情に応じた様々な地域ビジョンを、地方版総合戦略に記載していただければ幸いです。